

西暦 年 月 日

(臨床研究に関する公開情報)

水戸医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご理解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 横行結腸癌の発生部位の差における至適術式についての後ろ向き観察研究

○ [研究責任者] 水戸医療センター 医師 山本 恭彰

[研究の概要] 大腸癌は罹患数・死亡数が増加傾向にあり、今後も患者数の増加が予想される疾患です。大腸癌は切除可能なものであれば切除が最も強力な治療であり、外科手術は現在においても根治を望める根本的な治療法になります。大腸癌は発生する場所によって手術の方法が決まることが多いですが、横行結腸にできた場合は未だに統一した見解が得られていない部分があります。そのため、我々は横行結腸癌のできた場所と手術の方法を確認し、手術後の合併症にどれほど影響しうるのか明らかにし、それにより最も適した手術方法を明らかにすることを目的にしています。

● 対象となる患者様

○ 当院で、横行結腸癌の診断で根治手術を施行された患者様。

● 利用する検体、カルテ情報および病理検体

カルテ情報：診断名、年齢、性別、検査結果（血液検査、病理検査、CT画像、内視鏡画像など）、手術所見、治療内容、治療経過、術前・後でのCT画像

なお、公開する情報は、以下の内容を含むものとします。

- 1) 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む）
- 2) 利用し、又は提供する試料・情報の項目
- 3) 試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名
- 4) 提供する試料・情報の取得の方法
- 5) 提供する試料・情報を用いる研究に係る研究責任者（多機関共同研究にあっては、研究代表者）の氏名及び当該者が所属する研究機関の名称
- 6) 利用する者の範囲
- 7) 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称
- 8) 研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨
- 9) 8) の研究対象者等の求めを受け付ける方法
- 10) 研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できる旨（他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られる旨を含む。）並びにその入手・閲覧の方法

【個人情報取扱扱い】 利用する情報からは、お名前、住所など、個人を直接特定できる情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

【問い合わせ先】 国立病院機構水戸医療センター 外科医師 山本 恭彰

電話 029-240-7711 FAX 029-240-7788